

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2年Aクラス	医療・保育連携論	鹿島 房子	
サブタイトル	医療保育における保育士の役割とは	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5以上
到 達 目 標			
医療の支援が必要な子どもの保育について理解し、実践に繋げられるよう、事例を読み解きながら理解し、説明できる。基本的な保育者としての理論や実践力が基盤になり、その上で医療の支援が必要な子どもの保育に活かせるということを理解できる。ここには子ども支援だけでなく、家族支援や多職種連携も含まれることも理解し説明できる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>1. ディプロマポリシーとの関連：専門学校のディプロマポリシー「保育に関する基礎的な知識や保育技術を修得し、保育の場で応用して発揮することができる」に関連する。〈学びで得られる成果〉専門分野に関する知識・技術を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。</p> <p>2. カリキュラムマップの位置づけ：保育者としての得意分野を広げる専門領域、「医療保育領域」の学びに関連する。</p>			
授 業 の 方 法			
医療保育の全体像を理解できるよう、様々な領域の医療保育について学ぶ。その上で、それぞれの領域の医療保育における事例をもとに保育士の役割を学んでいく。教員の講義だけでなく、医療保育の現場の紹介動画、紹介資料などをもとに学びを深めていく。			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト： 毎回資料を準備する。</p> <p>参考書：</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
医療保育の全体像について理解している。 それぞれの領域の医療保育における保育士の役割について理解している。		<p>期末レポート 70%</p> <p>学習意欲、課題提出等 30%</p>	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>1) 医療の支援が必要な子どもに関わる保育者として必要な知識と技術を身につけることを目的としています。</p> <p>2) 授業に積極的に参加し、専門職としての基礎をしっかりと身につけてください。</p> <p>3) この授業は14時間の予習・復習をするものとする。</p>			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス ・本授業の学習の目的や学習の流れについて説明する。	授業の目的や学習の流れを理解できる。
2回	医療保育ってなんだろう ・医療保育とは何かについて学ぶ。 ・医療保育の様々な領域について学ぶ。	医療保育とは何か、そして多様な領域について理解できる。
3回	小児病棟の保育について ・小児病棟の保育の現状について学ぶ。 ・小児病棟の保育について動画資料から学ぶ。	小児病棟の保育の現状と保育の実際について理解できる。
4回	小児病棟の保育 グループワークと発表 ・小児病棟の保育について、それぞれが捉えた保育士の役割を根拠と共に出し合い、ポスター作成し、発表する。	仲間と情報を共有し、理解を深め、発表力も培うことができる。
5回	病児保育室の保育について ・病児保育室の保育の現状について学ぶ。 ・病児保育室の保育について動画資料から学ぶ。	病児保育室の保育の現状と保育の実際について理解できる。
6回	病児保育室の保育 グループワークと発表 ・病児保育室の保育について、それぞれが捉えた保育士の役割を根拠と共に出し合い、ポスター作成し、発表する。	仲間と情報を共有し、理解を深め、発表力も培うことができる。
7回	障害児施設の保育について ・障害児施設の保育の現状について学ぶ。 ・障害児施設の保育について動画資料から学ぶ。	障害児施設の保育の現状と保育の実際について理解できる。
8回	障害児施設の保育 グループワークと発表 ・障害児施設の保育について、それぞれが捉えた保育士の役割を根拠と共に出し合い、ポスター作成し、発表する。	仲間と情報を共有し、理解を深め、発表力も培うことができる。
9回	保育施設の保育について ・保育施設の保育の現状について学ぶ。 ・保育施設の保育について動画資料から学ぶ。	保育施設の保育の現状と保育の実際について理解できる。
10回	保育施設の保育 グループワークと発表 ・保育施設の保育について、それぞれが捉えた保育士の役割を根拠と共に出し合い、ポスター作成し、発表する。	仲間と情報を共有し、理解を深め、発表力も培うことができる。
11回	医療現場の保育士の倫理綱領から学ぶ 子どもの育ちを支える ・医療現場の保育士が作成した倫理綱領について概要を学ぶ。 ・医療の支援が必要な子どもの育ちを支える保育士の役割を学ぶ。	倫理綱領の概要を理解した上で、医療の支援が必要な子どもの育ちを支える保育士の役割が理解できる。
12回	医療現場の保育士の倫理綱領から学ぶ 保護者の子育てを支える ・医療の支援が必要な子ども保護者の子育てを支える保育士の役割を学ぶ。	医療の支援が必要な子どもの保護者の子育てを支える保育士の役割が理解できる。
13回	医療現場の保育士の倫理綱領から学ぶ やさしい社会をつくる ・医療の支援が必要な子どもやその保護者のためにやさしい社会をつくることの意義について学ぶ。	医療の支援が必要な子どもやその保護者のためにやさしい社会をつくることの意義について理解できる。
14回	まとめ グループワークと発表 ・医療現場の保育士の倫理綱領について、それぞれが捉えた保育士の役割を根拠と共に出し合い、ポスター作成し、発表する。	仲間と情報を共有し、理解を深め、発表力も培うことができる。
試験	レポート提出で試験の代わりとする。	